

佐潟再生事業について

1 概要

佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、富栄養化している佐潟の水質改善を図るため、様々な方法を検討し、人の手を加えながら佐潟の再生を目指す。

2 平成 29 年度実績

(1) ヨシ刈り、「ど」の再生・整備

- 実施日：平成 29 年 10 月 6 日(金)～8 日(日)
- 実施状況：別紙地図の通り
- 実施結果
 - ・平成 28 年に引き続き、約 2 ha のヨシ刈りや「ど」(水路)を整備
 - ・ヨシ刈り地に隣接する、杉林の除伐・下草刈り等整備

(2) 水門ドロばきの活用

- 実施日：平成 30 年 3 月 19 日(月)、20 日(火)
- 開門時間：2 時間程度

3 平成 30 年度(案)

(1) 佐潟再生事業調査

- 佐潟の水深、湖底に堆積している底泥の量などを計測し、佐潟の水質悪化の要因について調査する。
- 調査は、鳥屋野潟や松浜の池等の水深調査を行い実績のある NPO 法人新潟水辺の会に委託予定
- 調査にあたっては、地元の関係団体にも協力を依頼するとともに、佐潟周辺自然環境保全連絡協議会の皆様にも呼びかけ、調査状況や佐潟の現状を共有しながらすすめる。

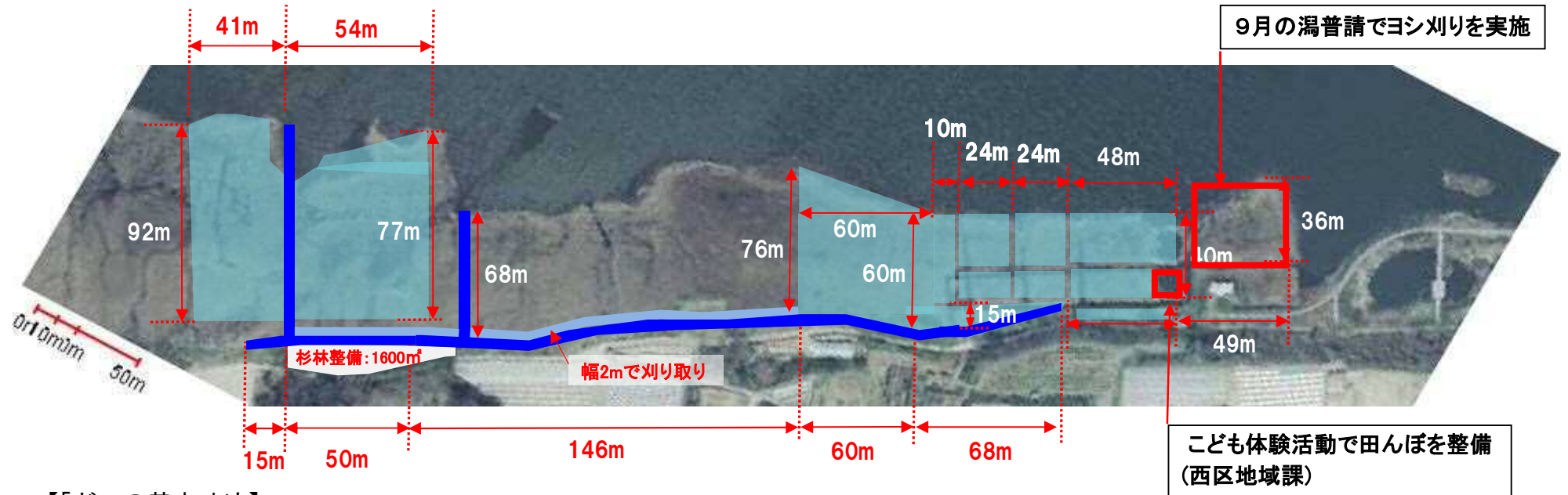
(2) 地域適応コンソーシアム事業(環境省公募事業に希望調書を提出)

- 国が推進する「気候変動の影響への適応計画」に関する地域における適応策の具体的な立案、実施を探る調査の一環として実施
- 調査内容は、佐潟の水収支の把握と地球温暖化に対して水生植物が受ける影響について検討する。
- また佐潟の水質改善の手法も検討する。
- 調査はコンサルタント会社が調査を担当し、平成 30・31 年度の 2 カ年で実施予定

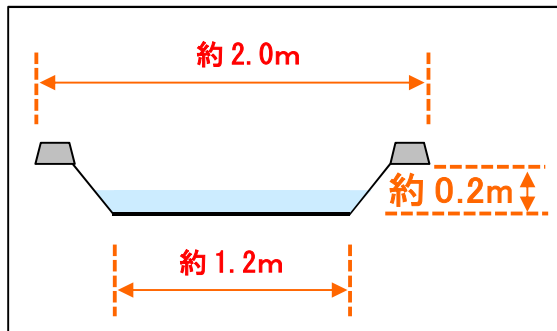
(3) 水門ドロばきの活用

- 平成 29 年度に引き続き、地元と調整しながら開門し、効果を検証予定

【平成29年度ヨシ刈り実施結果】



【「ど」の基本寸法】



	H28 年度実績	H29 年度実績
ヨシ刈り面積	1.7018ha	1.6719ha
別地点ヨシ刈り面積※	-	0.04ha
「ど」整備面積	0.1006ha	0.0998ha
杉林整備面積	0.1600ha	0.1600ha
計	1.962ha (約 2.0ha)	1.972ha (約 2.0ha)

※：赤塚商工会後ろ側の湿地周辺遊歩道(200m)の道の両側(2m)を刈り取り